

次号予告「ハイパースペクトルイメージングの技術動向」

巻頭言

ハイパースペクトルイメージングと多様性……津村徳道

総合報告

ハイパースペクトルイメージングを用いた計測やデータ解析の現状と展望……武山彩織ほか

解説

サブサイクルパルスを用いた高速な中赤外ハイパースペクトルイメージング……藤 貴夫ほか

国際宇宙ステーションからのハイパースペクトルイメージング……川島高弘ほか

市販のハイパースペクトルカメラに用いられる測定方式と特徴……ヘーガン・ネイザン

ハイパースペクトルカメラを用いた文化財の分光分析と求められる性能……犬塚将英

光学ハイライト

気になる論文コーナー

今後の特集予定

54巻 1号「中赤外フォトニクスデバイスと応用の広がり」

54巻 2号「健康長寿社会の実現へ向けた光医療」

54巻 3号「光散乱による微粒子計測の応用」

54巻 4号「高速大容量光通信を支える次世代の光変調器」

54巻 5号「画像認識における最先端 AI 技術」

// 編集後記 //

本号では、バーチャルリアリティ（VR）技術を応用した視覚科学研究に関する特集を組ませていただきました。私たちが見ている世界は、目に映る光から得られる情報のみならず、目の高さ、肩幅といった身体情報、歩行時であれば歩幅や一歩にかかる時間といった身体運動情報なども加味して認識された世界です。従来の視覚科学研究では、参加者は目や体をできる限り動かさずに視覚映像を観察することが求められ、私たちが日常的に行っている状況とは異なる状況にて、視覚や認知の研究が進められていました。一方、VR技術の発展・普及、特にヘッドマウントディスプレイの利用が容易となった現在では、参加者の身体運動を制限することなく、視覚映像の提示が可能となり、また参加者の身体運動計測も可能となりました。

本号では、特に身体運動との関連の深い研究やアクティブな状況での視覚認知の研究を中心に、幅広く著者の方々に解説いただきました。専門性の高い内容も含まれますが、読者の皆様の新しい研究展開の一助になればと願っております。

最後に、ご多用中にもかかわらず記事をご執筆くださいました著者の皆様、ならびに編集局、編集委員の皆様、に厚く御礼申し上げます。（瀬谷・日達）

原著論文を募集しています

「光学」では、日本語の原著論文を募集しています。会員・非会員を問わず、自由に投稿できます。皆様の意欲的なご投稿をお待ちしております。

また、上記に加え、特集テーマに関連のある原著論文も募集しています。この場合、採択となった論文はその特集号に合わせて掲載できるよう、査読作業をより迅速化いたします。特集テーマ関連の投稿締切は、当該特集号発行月の4か月前の10日です。特集号を明記のうえご投稿ください。

日本光学会ホームページ <http://myOSJ.or.jp/>

光 学 2024 ©

第53巻 第11号 <月刊>

2024年11月10日 発行

定価 1,500円（送料実費）

発行/ 一般社団法人 日本光学会

〒112-0002 東京都文京区小石川 2-23-11

常光ビル 7F 有限会社学術新報社内

E-mail: info@myOSJ.or.jp

印刷/ 大昭和印刷株式会社

「光 学」編集委員会

芦原 聡*	的場 修**	内田 美幸	江川麻里子
大平 倫裕	岡野 誉之	奥平 陽介	桶谷 亮介
角田 英俊	金 蓮花	黒坂 剛孝	小林 弘和
酒井 大輔	庄司 暁	瀬谷 安弘	田代 知範
豎 直也	玉田 洋介	張 開鋒	角井 泰之
中川 桂一	中山 雄太	日達 研一	藤井 瞬
藤井 宏昌	藤村佳代子	細木 藍	堀切 智之
堀崎 遼一†	水谷 康弘†	三宅 大助	本山 央人
安田 英紀	矢次 健一	和田 篤	

*委員長 **副委員長 †光科学及び光技術調査委員長

編集局 新沢佐和美

制作/ 有限会社学術新報社

電話 03-3816-3991 Fax 03-3816-3992

E-mail: kogaku@academic-j.co.jp